

新学術領域研究「共感性の進化・神経基盤」  
成果報告シンポジウム

# 「共感性学の創成」



# 「共感性学の創成」

2018年4月28日（土）

東京大学駒場・21KOMCEE West 地下  
10時～17時（ポスターセッションは18時まで）

**参加無料・事前登録不要**

総合司会：長谷川 寿一（東京大学）  
演者：亀田 達也（東京大学）  
伊澤 栄一（慶應義塾大学）  
村山 美穂（京都大学）  
大槻 久（総合研究大学院大学）  
尾仲 達史（自治医科大学）  
菊水 健史（麻布大学）  
開 一夫（東京大学）  
山本 真也（京都大学）  
佐藤 暢哉（関西学院大学）  
古藤 日子（産業技術総合研究所）



\* 領域各班による研究成果のポスター発表も併せて開催いたします。



文部科学省科研費・新学術領域研究「共感性の進化・神経基盤」  
URL : <http://www.empatheticsystems.jp/>  
E-mail : [empathy.admin@darwin.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:empathy.admin@darwin.c.u-tokyo.ac.jp)

# 「共感性学の創成」

文部科学省科研費・新学術領域研究「共感性の進化・神経基盤」は学際・複合領域として平成25年度にスタートし、5年に及ぶ多種多様な研究を通して、共感性の進化・起源と共感性の神経基盤の解明に取り組んでまいりました。本シンポジウムは5年間の研究成果をみなさまに報告するとともに、新たな「共感性学」の創成を宣言するものであります。

## 【プログラム】

- 10:00-10:10 開会のご挨拶 長谷川 寿一
- <動物の共感性とその神経回路>**
- 10:10-10:40 「動物における情動伝染を支える  
シグナルの同定とそのメカニズム」 菊水 健史
- 10:40-11:10 「動物における共感性」 尾仲 達史
- 11:10-11:30 「ラットの援助行動とその神経基盤の検討」 佐藤 暢哉
- <動物の共感性とその起源（昆虫と乳幼児）>**
- 11:30-11:50 「アリの社会性を制御する分子基盤の解明」 古藤 日子
- 11:50-12:10 「乳児の能動性に着目した  
向社会行動の発達的理解」 開 一夫
- 12:10-13:20 昼休み
- <多様性と遺伝（比較認知と遺伝子）>**
- 13:20-13:40 「進化の隣人と伴侶動物からみた共感性の進化  
：共感性比較認知科学の展望」 山本 真也
- 13:40-14:10 「共感性の遺伝基盤」 村山 美穂
- 14:10-14:40 「共感性の比較心理学」 伊澤 栄一
- <共感性の進化>**
- 14:40-15:10 「共感性は適応進化できるか？  
ー理論からのアプローチー」 大槻 久
- <ヒト社会の共感性>**
- 15:10-15:40 「ヒト社会と共感性」 亀田 達也
- 15:40-15:50 休憩（パネルディスカッション準備）
- 15:50-16:35 パネルディスカッション「共感性学の創成」  
オーガナイザー：亀田 達也  
パネリスト：長谷川寿一・菊水健史・大槻久・伊澤栄一
- 16:35-17:00 質疑応答・閉会のご挨拶
- 17:00-18:00 ポスターセッション